



レビー小体型認知症サポートネットワーク福岡 第 25 回研修会・交流会



2023年7月13日（木）に第25回研修会・交流会を天神・BiVi福岡で、協力医 合馬慎二先生の司会のもと開催しました。9名の方にご参加いただき、ご本人3名、初参加2名でした。

はじめに、顧問医である坪井先生から、レビー小体病認知症についてレクチャーがありました。

グループワーク

顧問医、協力医を囲み、DLBSN 代表森本さんの進行のもと、現状や相談ごとについて語り合いました。そのうちのいくつかを紹介します。

- 治療はいつから始めたらよいか？ 薬を使うと副作用が心配だ。

→生活に困りだしたら始めたがよい。便秘や過敏症など副作用が出現する可能性はあるので、薬の効果と副作用を医師とよく相談するとよい。

- ものの認識に変化があったようだ。

→空間認識ができにくくなる。たとえば、トイレがわからなくなるので、昔ながらの表現や絵で示すとよい。「便所」と書いたり、男性と女性のマークを貼ったりするとよい。玄関も「玄関」と示すとよい。

- 昔から空手や柔道をしていた。続けてよいか。

→昔からやってきたものは、無理せず続けていくのがよい。身体が弱っていたりするので、無市内範囲で。

- 水分をとらないので、どのように対応したらよいか。

→好みがあるので、色々な味を試すとよい。タッパーにゼリーを作って食べやすいようにすると進みやすい。

次回の研修会・交流会は、2023年10月26日（木）18時～

BiVi 福岡 6階会議室です。

*参加の際には、マスクの着用、自宅での体温測定をお願い致します。



報告者：DLBSN 福岡 副代表坂梨左織